

「大分豊じょう化教育プログラム」の履修について

1. 「大分豊じょう化教育プログラム」の概要について

大分大学では、学生が段階的に汎用力や能動的な課題解決能力等を獲得し、業種を超えて連携しながら、大分県の地域や経済社会の活性化に貢献できる「大分を創る人材を育成する科目」を設定しており、大分県に就職を希望する学生にとっては有効な学びができます。

＜ステップ1＞「大分を創る科目」（基盤教養科目）（図2参照）

ステップ1では、教養教育科目（各学部で受講対象を限定している科目を含む）において、1～2年次に、大分創生につながる人材の基礎的な能力を身につける科目を基盤教養科目（「大分を創る科目」）に選定してシラバスに明記し、アクティブ・ラーニング等を活用して「大分を創る人材」の基礎的な学びを行うものです。選定した「大分を創る科目」（基盤教養科目）を「汎用力育成」「企業力育成」「地域力育成」の3つの科目群に設定し、学生のみなさんのニーズに沿った科目の履修を薦めています。全ての学生に2単位の履修を卒業要件とし、教養教育科目の全学共通科目の5主題の中に配置しています。また、必修（経済学部は選択必修）になっている「福祉・地域」の分野や、各学部独自の「導入・転換」の科目とも連動しています。

さらに、県内8大学等間で相互の単位互換の科目などもあり、こうして構成されたものを「大分を創る人材を育成する科目」として、学生のみなさんにとって最適で多様な科目を開講するものです。

【参考】

＜基盤教養の養成像＞

グローバル化された経済社会において、「仕事に就くこと」に焦点を当て、グループワークや職場体験等を通して社会人としての汎用基礎力（対人力・対自己力・対課題力・キャリアプランニングの基礎能力）を学ぶとともに、「大分の視点」を中心としてビジネスや地域課題の基本的な知識を修得し、課題に対応しようとする人材を養成します。

＜汎用力育成のコンセプト＞企業や地域を豊じょう化するための対課題基礎力、対人基礎力、対自己基礎力等の汎用的能力を育成する。

＜企業力育成のコンセプト＞大分県を中心とした企業（職場）をフィールドにした豊じょう化力としての「企業理解」「企業への関心」「企業課題への対応能力」を育成する。

＜地域力育成のコンセプト＞大分県を中心とした地域をフィールドにした豊じょう化力としての「地域理解」「地域への関心」「地域課題への対応能力」を育成する。

＜ステップ2・3＞「大分を創るトップアップ科目」（高度化教養科目）（図3参照）

さらに、ステップ2とステップ3では、高度なキャリアを形成する「大分を創るトップアップ科目」（高度化教養科目）で実践的な学修をします。大分創生につながる人材の実践的な能力を身につけるため、アクティブ・ラーニングを通して深い能動的学修（Deep Active-Learning）を実施します。実践的な「汎用力」「企業力」「地域力」を育成する科目で、企業家や地域指導者等と直接に接しながら、密度の高い学修をする科目です。学部の学修を生かしながら、自分が目指す職種等の学びや、就職に繋がる職場体験が可能になります。

受講については、教養教育科目として、「大分を創る科目」を2科目4単位以上履修した者を対象にして、別途「受講動機」等の聞き取りをして選考します。

ステップ2では、2年次後期に開講する「地域ブランディング」（100名程度）で、実践的な課題に対応するための一定の能力を身につける学修をします。

ステップ3では、ステップ1及びステップ2の学修をした者を対象にして、最終段階の「企業、起業課題対応型PBL」（20名程度）と「地域豊じょう型フィールドワーク」（40名程度）の科目を開講します。この科目は、大分を究める深い能動的学修と専門教育の相互作用により、多面的な思考能力と実践力の育成を目指す科目で、企業や地域の豊じょう化に直結する可能性を高めるトップアッ

(2) 「大分を創るトップアップ科目」(高度化教養科目) について

図3は「大分を創るトップアップ科目」(高度化教養科目)の開講計画を示したものです。

図3

「大分を創るトップアップ科目」(高度化教養科目)の開講スケジュール(平成29年度からの順次開講)

ステップ	単位数・科目名	教員名(数)	受講者数	対象者	開講時期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	備考
ステップ2 ブランディング型 1. 企業等の活性化 体験を通して自分の 職業観を育てる 科目群	2単位 高度化① 地域ブラン ディング	5名/クラス 石川 他	100名 2年生後期 ～4年生	基盤教養 規程単位 履修者 4単位以上	後期	教養科目と して試行 受講生: 2,3年生 (30名程度)	開講	開講	開講	クラス制、同時期に開講 ※教員チームが必要 ※女性教員の視点も必要 ※H28～31の期間、大学院生もス テップ2に単位認定無しで参加可能 とする。
ステップ3 利益共有型科目 1. 企業の新事業を 立ち上げる実体験 に触れる科目群 2. 地域(自然、観光、 歴史、文化、もの づくり)を豊じょう 化させる実体験に 触れる科目群	4単位 高度化② 利益共有型 インターン シップ (企業型)	高見 他	20名 3,4年生 (原則)	ステップ 2の 履修者	8月以降		試行 受講生: 2年生以上 (10名程度)	開講	開講	<基本> 3科目共通 ・7月:合同事前学修 <発展> ・8月以降:科目毎学修
	4単位 高度化② 利益共有型 インターン シップ (地域豊じょう 型)	石川 他	20名 3,4年生 (原則)		8月～12月	教養科目と して試行 受講生: 2,3年生 (10名程度)	試行 受講生: 2年生以上 (10名程度)	開講	開講	<「匠」認証> ・3年生12月「匠」申請 ・3年生1月末「匠」認証 ※ステップ3の単位修得者と「匠」認 証者によるSAを実施する。 ※未「匠」認証者はSAをすることに よって再申請ができる。 ※H28～31の期間、大学院生もス テップ3に単位認定無しで参加可能 とする。
	4単位 高度化② 高度化学習 ポランティ ア実践	岡田 他	20名 3,4年生 (原則)		8月～12月		試行 受講生: 2年生以上 (10名程度)	開講	開講	

「大分を創るトップアップ科目」(高度化教養科目)は2年次前期までに「大分を創る科目」(基盤教養科目)を2科目4単位以上履修した者を対象とした科目です。規定によって単位を取得し、「受講動機」等の聞き取りにより選考された者は「大分を創るトップアップ科目」(高度化教養科目)を受講することができます。これらの「大分を創るトップアップ科目」(高度化教養科目)は②福祉・地域の主題に含まれています。

「大分を創るトップアップ科目」(高度化教養科目)の具体的な内容は、次のとおりです。

<平成29年度から開講>

2年生後期から受講するもので、2コマ続きのグループワークを中心として、数回のフィールドワーク等含む科目です。(対象学年:2～4年生)

●「高度化① 地域ブランディング」<単位数:2単位>

実践的な「汎用力」「企業力」「地域力」を育成する科目で、企業家や地域指導者等と直接に接しながら、与えられた地域固有の課題に対して、新しい観点からの具体的な課題解決案を提示する方法を学びます。

<平成30年度から開講>

「高度化① 地域ブランディング」を受講した者が3年生後期から、高度化②の3科目の中から1科目を選択して受講するもので、10日間程度のインターンシップやフィールドワークを中心として学修する科目です。(対象学年:3～4年生)

●「高度化② 利益共有型インターンシップ(地域豊じょう型)」<単位数:4単位>

●「高度化② 利益共有型インターンシップ(企業型)」<単位数:4単位>

大分を創生する能力を身に付けるための深い能動的学修と専門教育の相互作用により、多面的な思考能力と実践力の育成を目指す科目で、企業や地域の豊じょう化に直結する可能性を高めるトップアップのプログラムです。よって、企業やムラなどの現場に入り、情報を自

ら集め、具体的な課題を立て、ヒトが集まり、生き活きと働くための仕組みづくりや商品等の成果物を提示します。

●「高度化② 高度化学習ボランティア実践」＜単位数：4単位＞

地域NPOなどと連携し、現場での活動から課題を見出し、若者の視点からの取組を具体化し、その成果の振り返りを行うことで、地域への有効性と自分の成長を醸成するという、学習ボランティアの「互恵性」に気付き、地域貢献意識を醸成します。

3. 平成29年度に大分大学が開講する科目一覧表

平成29年度「大分を創る科目」の「具体的な到達目標」一覧表

育成する力	学期	(新)主題	授業科目名	具体的な到達目標
企業力	前	①	中小企業の魅力の発見と発信	①十分な学びの足跡(活動, 成果, 自己評価, 他者評価など)として記録し, 職業選択に関する基本的な考え方について, 職業と関連づけながら自分の生き方を他者に説明できる。 ②「職場の魅力, 職場の楽しさの重要性, 人とのコミュニケーションの大切さ」に関する気づきを, 職場体験の関係者・他の受講生との交流エピソードをもとに他者へ説明できる。 ③魅力発信に必要な素材を適切に収集し, 受け手に配慮したメディアを制作できる。
企業力	前	④	経済統計を読む	1. 新聞やテレビ等のマスメディアで, しばしばとりあげられる経済統計(指標)について, 的確な理解ができること, 2. 企業が置かれている経済的な環境や経済動向について, 経済統計を通じて理解を深めること, を到達目標とします。
企業力	前	④	企業の価格戦略と消費者の行動	企業の価格決定の方法, コーヒーショップや携帯電話料金, DVDの価格がなぜ下がるのか?などの価格決定構造を理解してもらう。
企業力	前	④	日本のマネジメント	1. 日本企業のマネジメントの特徴や概要を説明できるようになる。 2. ビジネスやその制度について, 実践的な理解ができるようになる。 3. マネジメントやビジネスの基本概念を日本語と英語で理解できる。 4. マネジメントの基本について, 英語で説明できるようになる。
企業力	前	④	革新的企業経営	イノベーション(革新)とは何か, なぜ企業はイノベーションが必要なのか, どのようにイノベーションを行って行くのか, 企業の商品やサービスの持続的に競争優位を実現する価値創造の仕組み, すなわちビジネスモデルを事例を通して理解する事が目標です。
企業力	前	④	会社組織のしくみ	会社組織の基本的考え方, さらに経営学関連の科目を履修する際に活用できる知識や基本的理論を習得します。 ・会社組織のあり方を説明できるようになる。 ・組織的なものの考え方を見方ができるようになる。
企業力	後	①	男女共同参画入門	・男女共同参画に関する, 現行の諸制度の基礎知識を得ることができる。そして男女共同参画社会の次世代の担い手となることを目指す。 ・男女共同参画社会の実現に向けて, 現状の問題点・企業が直面する課題を考え, 分析することができる。 ・講義内容を理解して自分の考えをまとめられる, またグループで話し合い, 社会に提言する視座を持つことができる。
企業力	後	①	職業とキャリア開発	①働くことは, 自己の適正に合致して生涯を通じて打ち込み, 社会に貢献することであるという職業の意義を理解して説明できる。 ②企業や行政の役割と理念, 役割と役割, 業務の職種, 求められる人材, 女性の活用等について理解し, 自分なりの考えを説明できる。 ③多くの就労のチャンスの情報を収集する必要性を理解し, 求められる人材に育つための主体的なキャリアプランニングができる。
企業力	後	②	インストラクショナルデザイン入門	1. インストラクショナルデザインの基礎に従って, 独学を支援するための教材を作成できるようになる。 2. 明確な目標の設定やテストの作成, 教授方略を用いた教材の設計ができるようになる。 3. 形成的評価を実施し, よりよい教材にするために改善策を提案できるようになる。
企業力	後	④	簿記の基礎	・日本商工会議所の簿記検定(日商簿記検定)3級レベルの簿記用語の内容を説明できるようになる。 ・日商簿記検定3級レベルの取引のうち, 基本的な取引に関する記帳(仕訳・転記)が行えるようになる。 ・簿記一巡の手続きを理解し, 試算表, 精算表, 貸借対照表・損益計算書を作成できるようになる。
企業力	後	④	知的財産入門	知的財産と知的財産権の概念や, 知的財産関連法と経済活動の関わり, 企業の業務において必要な基礎的な知的財産に関する知識について説明できるようになる。特に, 自分自身と知的財産のかかわりを十分に認識し, 身近な生活において正しい判断ができるようになる。
企業力	後	④	消費者と企業	消費者行動の基礎理論, 企業行動, ブランド戦略の理解が目標となる。
企業力	後	④	企業経営と会計	・企業経営と会計との関係を理解する。 ・基本的な財務諸表分析を習得する。 ・企業経営に有用な会計技法の理解を深める。
企業力	後	④	会社法入門	会社法の基礎知識を習得する。 会社法の全体的な仕組みがイメージできるようにする。
地域力	前	①	プロジェクト型学習入門1 ～インターンシップセミナーB～	①プロジェクト型学習に主体的・積極的に参画し, プロジェクトの推進に寄与した証拠を示すこと。 ②チームのメンバーや教員, NPOの方などと役割分担や協働を行い, チームでの取り組みのためのスキルを向上させること。 ③地域社会の抱える課題(地域の団体や企業が直面する社会経済的課題)を解決する取り組みに関与し, これを通じて自分が行いたい社会的活動や職業観を明確にすること。
地域力	前	②	大分の水 I	1. 地域を題材として, 自然と他者との共生, 循環型社会, 持続可能な社会など基礎的な知識を習得するとともに, 地域の課題(環境・生業等)を理解し, これについての専門学習を深めるきっかけとします。 2. グループ・集団での学習・生活など大学における基礎的な勉強法の習得をめざします。グループに個人がどう参加できるか, またグループは個々のメンバーをどう支え, 助けるか, 集団と個人の関係の築き方も学びます。 3. 地域の人々との交流により社会生活上の基本的な関係のあり方も学びます。
地域力	前	②	福祉専門職の来し方	(1) 福祉専門職の活動の基本を理解する。 (2) 福祉専門職を取り巻く状況を理解する。 (3) 福祉専門職にとっての挫折の有用性を理解する。
地域力	前	②	建築環境計画	1. 都市や建築空間における室内音響と騒音振動問題の科学的理解と解決へ向けた議論の展開。 2. 都市や建築空間における光・熱環境に関する問題の科学的理解と解決へ向けた議論の展開。 3. 都市や建築空間における空気環境に関する問題の科学的理解と解決へ向けた議論の展開。 4. 都市や地域における問題の科学的理解と地域資源や特色を活かしたまちづくりや取り組みのあり方について理解する。 5. 建築計画的観点(=人間と空間と時間の相互関係)から, 持続可能な生活・居住環境の基礎知識を修得する。
地域力	前	②	障がい者福祉入門	1. 障がいの種類, 特徴について述べるができる。 2. 障がい者の数などその実態を説明できる。 3. 障がい者を支える制度について基本的な部分を説明できる。 4. 障がい者と関わる際に注意すべき点を述べるができる。
地域力	前	②	子育て支援の地理学	現代日本の社会問題の一つである少子高齢化と関連政策の展開と, 子育てを取り巻く地域の諸条件(社会・経済・文化)を学び, 具体的な事例や統計データ, 地図を参照しながら地域条件に即した対策や対応のあり方を検討できるようになる。
地域力	前	②	子どもにとっての福祉とは: 社会的養護と家族支援	1. 社会的養護の基本的な理念や制度施策について理解し説明できる。 2. 個々の子どものニーズに対応した支援のあり方について理解し説明できる。 3. 支援者に求められる専門性について理解し説明できる。
地域力	前	②	大分の地域資源	1. 授業でピックアップする大分の地域資源について列挙し, 説明できるようになる。 2. 大分の地域資源に係わる問題点や課題を選択・発見し, 解決のアイデアを持てるようになる。 3. 大分についてもっと学んでみたい, 大分の地域資源を体験してみたいと思うようになる。
地域力	前	②	大分県の歴史 I	1. 大分県の全体的な歴史の流れを理解し, 郷土に対する興味関心を強く持つようになる。 2. 自分の郷土に残る文化財とその背景となる歴史を学び, 郷土の歴史について深く理解するようになる。 3. 大分県の歴史・文化への理解と愛着を深め, 誇りをもって大分県の発展に寄与する意欲が高まる。
地域力	前	②	世界・日本・大分の農業経済論	この講義を通じて, 例えば… 「一人が一年間食べるご飯のために, どれくらい田んぼが必要なの?」といった素朴な疑問から, 「なぜ日本の自給率は, 先進国の中で特に低いのか?」, 「TPP中止で日本農業はどうなるのか?」, 「大分の農業の特徴と目指すべき方向性は?」といった複雑な問題まで, 世界, 日本, 大分の農業を理解し, また人に説明できるようになります。
地域力	前	③	大分美術史概論	1. 大分における美術の歴史の流れを紹介できる 2. 造形表現におけるさまざまな素材・技法を説明できる 3. 歴史を語ることについての問題意識を持ってレポート等が書ける

育成する力	学期	(新)主題	授業科目名	具体的な到達目標
地域力	前	③	医学史のプロムナード	<ul style="list-style-type: none"> 西洋医学史を世界史の動きの中で捉えられる。 西洋医学の形成・発展に貢献した人物について説明できる。 日本の西洋医学受容の過程とその意義を考えられるようになる。 日本の西洋医学受容を担った主要人物について説明できる。 大分で展開した西洋医学受容の歴史に関わる知識を身につける。
地域力	前	④	食と農の地理学	日々の食事や身近な農村のことから、世界の食料貿易や日本の農業・農村問題のことに考えをめぐらせ、大局的な視点からそれらを理解できるようになる。
地域力	前	⑤	自然災害と防災の科学	<ol style="list-style-type: none"> 日本で起こりうる自然災害を知り、それらの発生メカニズムを理解する。 各専門分野と自然災害との関わりについて理解する。 ソフト面での防災対策について理解し、将来的に実践・活用できる能力を身につける。
地域力	前	⑤	建築構造工学	次の事項について理解し、安全な町づくりや持続可能な建築の重要性をしっかりと認識する。 建築形態と構造の概要/地震による建築物の被害とその教訓/安全な住まいづくり/構造設計の概要/身近な建築物の構造と防災対策/耐震診断と耐震補強の概要/主要な建築材料の力学的特性と耐久性/建設分野のリサイクル
地域力	後	①	プロジェクト型学習入門2 ～インターンシップセミナーB～	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクト型学習に主体的・積極的に参画し、プロジェクトの推進に寄与した証拠を示すこと。 チームのメンバーや教員、NPOの方などと役割分担や協働を行い、チームでの取り組みのためのスキルを向上させること。 地域社会の抱える課題（地域の団体や企業が直面する社会経済的課題）を解決する取り組みに関与し、これを通じて自分が行いたい社会的活動や職業観を明確にすること。 すでに実施されたプロジェクトの成果および課題を適切に評価し、プロジェクトのさらなる深化・発展に貢献すること。
地域力	後	②	地域における仕事と社会	グローバル化がどんなに進んでも地域は生活の基盤となります。その生活地域を豊かにするための方策について考えることができる「考察力」をつけることを目的とします。主として地域の若者の労働の現状から次世代の地域社会の課題を析出する能力を高めていきます。
地域力	後	②	交通からみた地域社会	<p>地域の交通に関する問題を考える上で重要なポイントとして、</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域で起きている交通問題の実態を正確に把握すること、 他の社会問題・政策との関係などについても理解すること、 現状や政策を理解するためのツールを理解すること、 <p>があります。</p> <p>本講義では(3)はデータの読み方等の一部を取り上げることにとどめ、主に(1)・(2)についての基本的な情報提供を、身近な交通あるいは交通に関連する問題を取り上げて行います。それにより、(4)地域・交通問題に関心を持ち、本講義の知識をきっかけに自身に関連する問題として自らの考えを持つこと、を到達目標とします。</p>
地域力	後	②	地域社会へのまなざし	<ol style="list-style-type: none"> 地域社会の諸問題の背景と現状を説明できる。 地域社会の構造変動(市町村合併など)の背景と問題点を説明できる。 地域社会への住民参加・公民協働への視点を身につけられる。
地域力	後	②	運動器疾患と治療・予防	<ol style="list-style-type: none"> 運動器疾患のための重要なマクロ解剖、ミクロ解剖を理解する。 運動器における生理学を理解する。 関節のバイオメカニクスを理解する。 運動器疾患の発症メカニズムを理解する。 運動器疾患の保存療法について理解する。 大分の医療の地域課題を理解する。 医療における大分の地理的な問題点を理解する。
地域力	後	②	大分県の歴史Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 大分県の全体的な歴史の流れを理解し、郷土に対する興味関心を強く持つようになる。 自分の郷土に残る文化財とその背景となる歴史を学び、郷土の歴史について深く理解できるようになる。 大分県の歴史・文化への理解と愛着を深め、誇りをもって大分県の発展に寄与する意欲が高まる。
地域力	後	②	大分の人と学問	<ol style="list-style-type: none"> 大分の特色や課題、大分に縁のある人物について説明できる。 講義内容から派生的な課題を自ら見いだし、文献等の調査に基づいたアイデアを論述することができる。
地域力	後	②	大分の地域資源	<ol style="list-style-type: none"> 授業でピックアップする大分の地域資源について列挙し、説明できるようになる。 大分の地域資源に係わる問題点や課題を選択・発見し、解決のアイデアを持てるようになる。 大分についてもっと学んでみたい、大分の地域資源を体験してみたいと思うようになる。
地域力	後	②	大分の水Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 地域の課題(環境・生業等)を理解するとともに、地域から地球規模に及ぶ、自然と他者との共生、循環型社会、持続可能な社会など基礎的知識を習得するとともに、専門学習を深めきつかけとします。 グループ・集団での学習・生活など大学における基盤的な勉強法の習得をめざします。グループに個人がどう参加できるか、またグループは個々のメンバーをどう支え、助けるか、集団と個人の関係の築き方も学びます。 地域の人々との交流により社会生活上の基本的な関係のあり方も学びます。
地域力	後	③	前近代日本の国家と社会	<ol style="list-style-type: none"> 戦国時代・戦国大名に関する基礎的知識を説明できる。 一般的にイメージされる戦国時代・戦国大名とは異なる、戦国時代・戦国大名の実像を説明できる。 それぞれの地域の戦国大名についてその特徴を説明できる。 歴史的事実に関して、複眼的に考える視点を持てるようになる。 歴史＝暗記ではないことを理解する。
地域力	後	⑤	建築入門	次の事項について理解し、安全な町づくりや持続可能な建築の重要性をしっかりと認識する。 都市と地球環境/生活・居住環境/室内音響と騒音振動問題/建築形態と構造の概要/地震による建築物の被害とその教訓/安全な住まいづくり/構造設計の概要/身近な建築物の構造と防災対策/耐震診断と耐震補強の概要/主要な建築材料の力学的特性と耐久性/建設廃材のリサイクル
地域力	後	⑤	地生態学	<ol style="list-style-type: none"> 地因子の自然地理学的相互関係の理解 高山帯および寒冷地域の自然環境の理解 自然景観や自然環境の保護・保全に対する思考力の向上
地域力	前	②	地域の教育課題(教)	<ol style="list-style-type: none"> 教育課題を適切に捉え、深く探究する方法を身につける。 大分県を事例に地域の教育課題の全体を構造的に理解する。 教育課題の解決に向けた実践事例や教員の取り組みから、小学校における教師の役割と職務、求められる資質・能力について十分に理解する。 授業で習得した知識を踏まえて小学校教員を目指すために、今後の大学における学修のあり方について考えることができる。
地域力	前	②	早期体験実習(医※医)	<ol style="list-style-type: none"> 患者に分かりやすい言葉で対話できる。[A-3-(2)-2] 患者のプライバシーに配慮できる。[A-3-(2)-6] 医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。[A-3-(3)-1] 保健・医療・福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。[A-3-(3)-3] リハビリテーションチームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。[F-2-(11)-2]
地域力	前	②	健康科学概論(医※医・看)	<ol style="list-style-type: none"> 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる(知識) 大分県の医療・医学の歴史について概説できる(知識) 健康の概念について説明できる(知識) 医療が多岐の専門家(保健、医療、看護、福祉、介護)の協力体制で成立していることを概説できる(知識→態度) 生と死に関わる倫理的問題を概説できる(知識→態度) 医療の倫理上問題となっている医学研究・治療(クローンング、遺伝子治療、終末医療等)について概説できる(知識→態度) 在宅における終末期医療、看取りの在り方と課題を概説できる(知識→態度) 文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる(知識→態度) 医の倫理と生命倫理に関する規範、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言などを概説できる(知識) 生涯学習の重要性を説明できる(知識→態度) 将来医師、看護師、保健師、医学・看護学研究者として自分自身が備えるべき資質について説明でき、それを基に行動できる(知識→態度) コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる(知識→態度) <p>* (知識→態度)：本来は知識領域であるが、その知識をもとに態度として将来医療人として行動して欲しい。</p>

育成する力	学期	(新)主題	授業科目名	具体的な到達目標
汎用力	前	①	コンピュータ科学入門	1. コンピュータに興味を持ち、その発展の歴史を説明できる。 2. コンピュータ科学とその応用分野との関係を説明できる。 3. コンピュータの社会における基本的な活用法について説明できる。 4. コンピュータ社会が抱える課題に関心を持ち、自分自身の意見を述べるができる。
汎用力	前	①	スポーツと生活	スポーツや身体運動を行うことの有用性やその効果を理解することにより、各自の健康を管理する知識や能力を身につける。そして、健康で質の高い生活を送ることを目標に、その知識や能力を実生活中の健康で活かせるようになる。
汎用力	前	②	共生社会論	1. それぞれの時代における共生社会のあり方について理解し、時代の違いによる変化を分析し、現代社会との共通点・相違点を説明できる。 2. 過去の時代における共生社会のあり方を分析することにより、現代社会における課題を発見し、過去の社会から学んだヒントを活用できるようになる。
汎用力	前	②	福祉テクノロジー入門	・障害に対して、理解を深め、広い視野でとらえる。 ・福祉に関する支援技術、福祉機器・介護機器について理解を深め、障害や生活上の問題に対して適切な手段を選択できる。 ・福祉機器や介護機器の市場・活用法についての課題を理解し、これらの課題に興味関心を持つ。
汎用力	前	②	心理学を知る	日常的な人間の行動を、経験則や直観によって理解するのではなく、科学的な観点から、分析・考察できるようになる。心の存在、機能、構造について理解するための基本的な心理学の知識や考え方を習得する。
汎用力	前	②	創造的思考法	1. マインドマッピングを用いて、創造的思考ができるようになる。 2. プレインストーミングの意味や意義を説明できるようになる。 3. プレインストーミングによって、創造的思考ができるようになる。 4. 親和図法を用いて、情報を整理・視覚化し、創造的思考ができるようになる。
汎用力	前	③	古典文学講読	日本古典文学のリズムを修得し、すらすらと朗読できるようにする。 講義で扱う作品の現代語訳ができるようになる。 古典文学に必要な基礎知識、語彙、文法事項を修得する。
汎用力	前	③	水彩画の魅力	1. 水彩絵具の特性や種類、技法、制作プロセスについて理解し、他の画材との表現上の違いを具体的に説明できる。 2. 水彩画の基礎的な技法を習得し、水彩絵具の特性を生かした表現ができる。 3. 生活の中で、水彩画作品を自在に活用することができる。
汎用力	前	③	イギリス近代史	イギリス近代史の主要な事件や人物を説明できるようになること。 関心のあるテーマを選び、報告および質疑応答を行うこと。 多様な文化に関する幅広い教養を身につけ、西洋史に関する深い知識を修得している。 専門的な知識を活用し、国際化社会の変化や要請に、柔軟かつ的確に対応できるようになる。
汎用力	前	③	国文学作品研究	1 戦後の大宰治文学の特質を知る。 2 近代文学研究の基礎的な方法を学ぶ。
汎用力	前	③	文章構成法	1. KJ法・マインドマップやアウトライン法などにより、書く事柄の収集・整理ができるようになる。 2. 書く事柄をいくつかのパターン構成・展開することができるようになる。 3. 書かれた文章について構成や表現を根拠に評価できるようになる。
汎用力	前	③	国際健康コンシェルジュ養成講座	習得する専門知識 (Contents) とそれを活かした能力 (Competency) は、次の点である。 ・病氣・外傷の重篤度・緊急度の判断が可能となり、また必要な応急処置ができる。 ・外国語 (英語、中国語) の基本文例を使って、「身体症状を質問し、適切な指示を与える」ことができる。 ・病院外来での受付、支払い、ホテル、車いすマラソンなどの会話の基本文型を使って話すことができる。 社会人との協働講義の中で、必ず能力 (Competency) は、次の点である。 ・多様な年齢、性別、人生観、仕事観を持つ社会人と上記の会話訓練をすることで、自ら他人と「話す」状況をつくるきっかけを創出できる。
汎用力	前	③	日本文化論	日本文化を理解するため、文化事象の表象 (石・樹木・米・人生儀礼・年中行事等) と本質 (靈魂観・神道等) の両面を追究していく。まず、靈魂不滅の日本人の靈魂観について詳しく把握する。アニミズムまで遡れる日本人の自然観 (汎神論的思考) と神道との関係を分析する。内一外、此岸一彼岸の区別の意義、あるいは文化の通底にある「境界」の役割を認識する。石、樹木、色彩、方位の精神文化的役割を確認し、境界論的意義付けを行なう。生まれて死ぬまでに様々な経験する人生儀礼 (出生・成育・婚姻・葬送) の文化形成への反映を分析する。人生儀礼や年中行事の不可欠な要素たる米 (餅) について分析・考察することによって、米 (餅) =魂が日本文化の根底にあることを体得する。
汎用力	前	④	日本国憲法 (※橋本)	第一に、憲法理論を理解し、説明することができるようになること、第二に、学説の対立点を論じることができるようになること、第三に、地域社会や企業で生じる問題の改善のために、憲法理論を用いることができる汎用力や企業力を培うこと、です。
汎用力	前	⑤	数学と文化	1) 西洋文明における数学の役割を理解する。 2) 現実世界においてどこに数学が活かされているかを理解する。 3) 数学を通して宇宙や社会に関する見識を深める。 4) 数学者や科学者の課題解決過程を考察することで、課題解決力を育成する。
汎用力	前	⑤	エレクトロニクスの世界 I	(1) 上に示した3つのエレクトロニクス分野で用いられている理論や技術について、それらの基本概念や原理、構造や仕組みなどの知識を習得する。 (2) 3つのエレクトロニクス分野と現代生活との関係、及びその問題点を探り、各分野の理論や技術に対して我々は何のように向き合えばよいのか、ということを考えていくための素養を深める。 (3) 広い視野でエレクトロニクス分野の課題に興味・関心をもち、自分の意見を述べるができる。
汎用力	前	⑤	環境の化学	・地域の循環型社会の構築、世界のエネルギー事情、環境問題の課題、環境浄化を可能にする材料について理解できること。 ・地域と身の回りの「環境」を見つめることで化学の基礎的な原理と理論を自発的に学ぼうと取り組むようになること。 ・地球環境に関する様々なデータを読むことができるようになること。 ・環境問題の主な原因とそのメカニズムを、化学的な視点で理解できるようになること。 ・それらの問題を解決するために何をすべきか、各自で考えることができるようになること。
汎用力	前	⑤	機械技術概論	1. どのような能力を持った人が「いい会社」に勤務しているか、「いい会社」が学生に求める条件は何かを理解できる。 2. GD(Group Discussion) および GW(Group Work) によって、ディベート力やプレゼン力などを習得できる。 3. 感想文ではなく、相手を説得できる、すなわち「いい会社」に就職できる「文章」を書くことができる。 4. 入社試験時に最も重要視されるコミュニケーション能力を習得することができる。
汎用力	前	⑤	微分法と数学	1. 数列と数列の極限の意味を理解し、その計算ができる。 2. 様々な関数の性質・法則を理解し、そのグラフを描くことができる。 3. 関数の連続性の意味を理解するとともに、関数の連続、不連続の判定ができる。 4. 微分法の意味を理解し、具体的な関数の微分が計算できる。 5. 微分法を用いて関数の変化の状態を調べること、様々な課題解決に取り組むことができる。
汎用力	後	①	カタリバでキャリアを拓く	受講生は授業終了時に以下の能力を獲得します。 1. カタリバのスタッフとして、高校訪問の企画・準備・運営ができる。 2. 自分の進路体験を体系的に整理し、わかりやすいプレゼンや対話ができる。 3. 自分の意志で進路を選択できるキャリア開拓力を身につけている。
汎用力	後	①	学習ボランティア入門	①学習ボランティアの心得と社会的意義を説明できる。 ②ボランティア活動を通して、他者との人間関係の大切さや自分自身の成長に気づき、活動することの意義を分かりやすく説明できる。 ③ボランティア活動の大切さを基にして、今後のボランティア活動に関する自分自身の考え方を述べるができる。
汎用力	後	①	人類の知的遺産と向き合う	1) 文献の収集とその精査により結論を導くことができる。 2) ピピリオバトル (知的書評合戦) のバトルができる。 3) 異なる意見を尊重した共同作業によるプレゼンテーションを作成できる。
汎用力	後	①	木材加工の技術	・生活の中に利用されている技術を知り、利用方法を理解する。 ・基本的なもののつくりのための材料 (木材・金属・プラスチック) の性質や加工法を習得する。 ・製作を通して循環型社会の構築に向けた考え方を身に付ける。
汎用力	後	②	学習意欲の心理学	1. 学習意欲に係わる心理学の理論を説明できるようになる。 2. 学習意欲の問題に対して、解決案を示せるようになる。 3. 学習者として、意欲を高めるための方策を選択し、活用できるようになる。
汎用力	後	②	日本の環境政策	持続可能な社会をめざすためには、国民各界各層の自発的な環境保全活動が不可欠であり、多様な立場の人々の役割分担が必要であることを理解する。

育成する力	学期	(新)主題	授業科目名	具体的な到達目標
汎用力	後	③	西洋思想の源流	1. 西洋哲学史の古代・中世の主要な哲学者についての基礎的知識を習得する。 2. 人間の根本的な問題、そして現代に生起する社会事象に対する独特な哲学的眼差しを身につけることができる。 3. 授業や文献・資料の内容について重要事項や問題点を取り出すことができる。さらに、課題解決のために適切に情報を分析・活用して取り組むことができる。 4. 重要事項や問題点を複眼的に思考し、それらを自らの言葉で論理的に表現できる。換言すれば、自分の考えを相手に分かりやすく説明・提案することができる。
汎用力	後	③	初等教育のためのものづくり	具体的には、構想・設計・製作・評価という一連の活動プロセスや、ものづくり活動の題材開発等の実習を通して、児童に技術リテラシーを育むものづくり教育の内容について考察する。実地演習として、大分県内で開催されているものづくり教室等に指導者として参加し、実際に子どもたちを対象にものづくり活動を行い、実践的指導力を身につける。
汎用力	後	③	日本文化論	日本文化を理解するため、文化事象の表象(石・樹木・米・人生儀礼・年中行事等)と本質(靈魂観・神道等)の両面を追究していく。まず、靈魂不滅の日本人の靈魂観について詳しく把握する。アニミズムまで遡れる日本人の自然観(汎神論的思考)と神道との関係を分析する。内一外、此岸一彼岸の区別の意義、あるいは文化の通底にある「境界」の役割を認識する。石、樹木、色彩、方位の精神文化的役割を認識し、境界論的意義付けを行なう。生まれて死ぬまでに様々な人生儀礼(出生・成人・結婚・葬送)の文化形成への反映を分析する。人生儀礼や年中行事の不可欠な要素たる米(餅)について分析・考察することによって、米(餅)＝魂が日本文化の根底にあることを体得する。
汎用力	後	③	バロック音楽の世界	1. バロック音楽に関する基礎的な知識を習得する。 2. 17・18世紀のヨーロッパ文化の中でバロック音楽のあり方を理解する。 3. 現在とは異なるバロック時代独自の音楽の世界に親しむ。
汎用力	後	④	日本国憲法(※青野)	1 日本国憲法を学ぶうえで必要となる基本的な用語や考え方を理解できる。 2 日本国憲法が保障している主権の意義・内容・限界や、国会・内閣・裁判所の基本的役割について、判例も踏まえて、理解できる。 3 授業で取りあげる憲法問題について、自分の意見を持ち、相手に分かりやすく説明できる。
汎用力	後	④	日本国憲法(※橋本)	第一に、憲法理論を理解し、説明することができるようになること、第二に、学説の対立点を論じることができるようになること、第三に、地域社会や企業で生じる問題の改善のために、憲法理論を用いることができる汎用力や企業力を培うこと、です。
汎用力	後	⑤	情報科学の世界	1. 情報科学における考え方には多くの視点があることに興味をもち、それらを説明できる。 2. 世の中にあふれる情報を収集・活用する適切な手段を選択できる。 3. 情報科学に関連した技術について興味を持ち、基本的な課題や原理を説明できる。 4. 現代社会における情報科学・情報技術の様々な応用場面を把握し、説明できる。
汎用力	後	⑤	機械と文明	機械の発達の歴史が文明に深く関わってきたことを学ぶ事により、工学を始めとするいろいろな文化と学問分野が存在することを理解するとともに尊重するようになり、今後、主体的に学習する意欲を持つことができます。習得した知識を自らの生活設計に活用することができます。すなわち、いろいろな条件において、学ぶべき内容を把握し、自主的に取り組むことができます。その他、諸々の課題を発見し、その解決方法を見出し、科学的思考と方法を用いて合理的に総合的な判断を下すことができますようになります。
汎用力	後	⑤	機械の世界	身近なものを機械と関連付けて学ぶ事により、工学を始めとするいろいろな文化と学問分野が存在することを理解するとともに尊重するようになり、今後、主体的に学習する意欲を持つことができます。習得した知識を自らの生活設計に活用することができます。すなわち、いろいろな条件において、学ぶべき内容を把握し、自主的に取り組むことができます。その他、諸々の課題を発見し、その解決方法を見出し、科学的思考と方法を用いて合理的に総合的な判断を下すことができますようになります。
汎用力	後	⑤	くらしの化学	身近な化学材料や化学製品の特長、役割および問題点、さらには日常生活環境に潜存する様々な放射性物質由来の「放射線」について、化学的側面から説明できるようになる。
汎用力	後	⑤	身近な物理学	日常生活の中で、ほとんど見過ごしている現象が実は科学的なバックグラウンドを持っているということに気づかせ、自然科学的な目を養うとともに物理に関する興味を喚起する。
汎用力	後	⑤	数学の世界	1) 数や図形、数量関係等の基本的な数学的理論に関する解説を理解し、演習等により数学的スキルを習熟する。 2) 数学的理論に関する歴史的解釈および数学的理論の現実世界における認識論的解釈に基づき、数学の世界の魅力に迫り、見識を深める。
汎用力	前	①	基礎ゼミ(教・小学校教育コース)	学部シラバス参照
汎用力	前	①	基礎ゼミ(教・特別支援教育コース)	学部シラバス参照
汎用力	前	①	導入セミナー(経)	学部シラバス参照
汎用力	前	①	基礎理工学入門(理工)	理工学部で学ぶための基礎となる知識を吸収する。物理・化学・生物・地学の基礎的な内容を概説できるようになること。科学技術が自然科学の法則を応用して成り立つことを説明できるようになること。
汎用力	前	①	基礎ゼミ(福・理学療法コース)	学部シラバス参照
汎用力	前	①	基礎ゼミ(福・社会福祉実践コース)	学部シラバス参照
汎用力	前	①	基礎ゼミ(福・心理学コース)	学部シラバス参照
汎用力	前	①	医療情報システム学(医※医)	情報処理およびコンピュータ理解のための情報学に関する基礎の習得を目標とする。
汎用力	前	①	情報科学(医※看)	研究の計画、データ収集および処理の基礎の習得を目標とする。
汎用力	後	①	医療情報学(医※医)	確率分布、統計量とその分布、および推定論と検定論の基礎を理解することを目標とする。

平成29年度「大分を創るトップアップ科目」の「具体的な到達目標」

能力	学期	(新)主題	授業科目名	具体的な到達目標
地域力	後	②	高度化①「地域ブランディング」	<ul style="list-style-type: none"> 異なる他者(他学部の学生、課題提起用地域の関係者)に自らの知識や考えを説明することができる。 他人と考えを協力的にすり合わせるができる。 地域・企業のデータ分析から、その解決策のストーリーづくりを他人と協働しながら行うことができる。 地域社会・企業に貢献する成果物を提示するために、「課題提供者が気づいていない魅力」を、課題提供者がこれまで大切に育んで来たDNAとも言える特色を損なうことなく、「ことづくり」に織り込むことができる。 商品や特産物や地域に関する深い知見などの見える価値に、こだわり、信念、歴史、美、熟練技、地域の展望のやり方など見えない価値を織り込むストーリーづくりを相乗させた「ことづくり」提案ができる。

<参考>「大分を創る人材を育成する力」から見た科目一覧表

養成像	<p>グローバル化された経済社会において、「仕事に就くこと」に焦点を当て、グループワークや職場体験等を通して社会人としての汎用基礎力（対人力・対自己力・対課題力・キャリアプランニングの基礎能力）を学ぶとともに、「大分の視点」を中心としてビジネスや地域課題の基本的な知識を習得し、課題に対応しようとする人材</p>
企業力育成	<p>教育内容：大分県を中心とした企業が求める「企業理解」「企業への関心」「企業に求められる能力」に関すること</p> <p>育成する力（到達目標）</p> <p>①企業・職場、製品開発等の仕組みについて説明することができる。</p> <p>②経済の全体像（消費者や企業の動き、政府の役割およびその活動）、およびそれらの相互関係を説明することができる。</p> <p>③企業自体の魅力や企業のマーケティングにおける製品開発、ブランド戦略、価格設定について説明することができる。</p> <p>④企業の経営者、管理職、専門職の職務内容を説明することができる。</p> <p>⑤企業が抱える課題を知り、その解決方を提案することができる。</p> <p>⑥企業を体験して、企業が直面する課題について多面的に考えることができる。</p> <p>⑦提供される商品・サービス、財務戦略について新しい提案ができる。</p> <p>⑧企業を体験して、企業が直面する課題についてその解決方を提案することができる。</p> <p>⑨企業に参画して、経営者と共に、「ブランドデザイン」や「戦略」等の新規事業を企画することができる。</p> <p><前期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の魅力の発見と発信 ・経済統計を読む ・企業の価格戦略と消費者の行動 ・日本のマネジメント ・革新的企業経営 ・会社組織のしくみ <p><後期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画入門 ・職業とキャリア開発 ・インストラクショナルデザイン入門 ・簿記の基礎 ・知的財産入門 ・消費者と企業 ・企業経営と会計 ・会社法入門
地域力育成	<p>教育内容：大分県を中心とした地域が求める「地域理解」「地域への関心」に関すること</p> <p>育成する力（到達目標）</p> <p>⑩大分の地域課題（教育・福祉・医療・科学・文化・防災等）について説明することができる。</p> <p>⑪大分のまちづくりや特色ある取組（教育・福祉・医療・科学・文化・防災等）について説明することができる。</p> <p>⑫大分県における県・市町村の政策について説明することができる。</p> <p>⑬大分の直面する地域課題を知り、その解決方を提案することができる。</p> <p>⑭地域での活動を体験し、地域社会が直面する地域課題について多面的に考えることができる。</p> <p>⑮地域での活動を体験し、地域社会が直面する地域課題についてその解決方を提案することができる。</p> <p>⑯地域の取組に参画して、地域の街づくりや特色ある産業等の豊じょう化について多面的に分析して、中長期的な視野に立った「ブランドデザイン」や「戦略」の新規事業を企画・実践することができる。</p> <p><前期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト型学習入門1 ～インターンシップセミナーB～ ・大分の水Ⅰ ・福祉専門職の来し方 ・建築環境計画 ・障がい者福祉入門 ・子育て支援の地理学 ・子どもにとっての福祉とは：社会的養護と家族支援 ・大分の地域資源 ・大分県の歴史Ⅰ ・世界・日本・大分の農業経済論 ・大分美術史概論 ・医学史のプロムナード ・食と農の地理学 ・自然災害と防災の科学 ・建築構造工学 ・地域の教育課題（教育学部） ・早期体験実習（医学部医学科） ・健康科学概論（医学部医学科・看護学科） <p><後期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト型学習入門2 ～インターンシップセミナーB～ ・地域における仕事と社会 ・交通からみた地域社会 ・地域社会へのまなざし ・運動器疾患と治療・予防 ・大分県の歴史Ⅱ ・大分の人と学問 ・大分の地域資源 ・大分の水Ⅱ ・前近代日本の国家と社会 ・建築入門 ・地生態学

教育内容：企業や地域から求められる就業基礎力、社会人基礎力、学士力等の汎用的能力に関すること		
育成する力（到達目標）		
汎 用 力 育 成	対課題基礎力	<p>⑰複数の情報手段による情報を収集して分析できる。</p> <p>⑱テーマに関する課題を発見して課題解決の目標を設定できる。</p> <p>⑲課題解決にむけた柔軟性を保った計画立案ができる。</p> <p>⑳課題解決過程において、進捗状況の把握、管理および適正な遂行ができる。</p>
	対人基礎力	<p>㉑多様な人や文化、考え方を理解することができる。</p> <p>㉒他者に分かりやすく説明・提案することができる。</p> <p>㉓他者と協調・協働して計画することができる。</p> <p>㉔他者と協調・協働して実行することができる。</p> <p>㉕組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。</p> <p>㉖組織や集団をコントロールするための柔軟性を保った計画作成と協働作業ができる。</p>
	対自己基礎力	<p>㉗社会や企業への関心がある。</p> <p>㉘組織・社会の一員としての規律（マナー）を守ることができる。</p> <p>㉙組織・社会の一員としての自分の役割を認識することができる。</p> <p>㉚組織・社会の一員としての自分の役割を認識して取り組むことができる。</p> <p>㉛組織・社会の一員として他者の発想を受け入れつつ、持続的に取り組むことができる。</p> <p>㉜モチベーションを維持して失敗を恐れず、粘り強く取り組むことができる。</p> <p>㉝「働くこと」の意義を知り、自分なりの生き方を持って主体的に働こうとすることができる。</p>
		<p><前期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ科学入門 ・スポーツと生活 ・共生社会論 ・福祉テクノロジー入門 ・心理学を知る ・創造的思考法 ・古典文学講読 ・水彩画の魅力 ・イギリス近代史 ・国文学作品研究 ・文章構成法 ・国際健康コンシェルジュ養成講座 ・日本文化論 ・日本国憲法（※橋本） ・数学と文化 ・エレクトロニクスの世界Ⅰ ・環境の化学 ・機械技術概論 ・微分法と数学 ・基礎ゼミ（教育学部・小学校教育コース） ・基礎ゼミ（教育学部・特別支援教育コース） ・導入セミナー（経済学部） ・基礎理工学入門（理工学部） ・基礎ゼミ（福祉健康科学部・理学療法コース） ・基礎ゼミ（福祉健康科学部・社会福祉実践コース） ・基礎ゼミ（福祉健康科学部・心理学コース） ・医療情報システム学（医学部医学科） ・情報科学（医学部看護学科） <p><後期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタリバでキャリアを拓く ・学習ボランティア入門 ・人類の知的遺産と向き合う ・木材加工の技術 ・学習意欲の心理学 ・日本の環境政策 ・西洋思想の源流 ・初等教育のためのものづくり ・日本文化論 ・バロック音楽の世界 ・日本国憲法（※青野） ・日本国憲法（※橋本） ・情報科学の世界 ・機械と文明 ・機械の世界 ・くらしの化学 ・身近な物理学 ・数学の世界 ・医療情報学（医学部医学科）

4. 他大学の単位互換科目一覧

※受講希望の場合は、各学部学務係または教育支援課にて詳細を確認してください。

(前期)

【企業力科目】

県立芸術文化短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
産業・組織心理学	前期 金3	吉山	2	5	2	講義(週1×15コマ)	県立芸術文化短期大学で開講	
①職場集団や組織の心理学的特質を説明できる。 ②職場で起きやすい問題や困難を指摘できる。 ③リーダーシップを発揮するポイントを説明できる。								

【地域力科目】

県立芸術文化短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
観光地域づくり論	前期 月3	宮野	2	5	2	講義(週1×15コマ)	県立芸術文化短期大学で開講	
①観光地域を取り巻く社会環境について理解している。 ②観光地域づくりにおけるマーケティングの必要性について理解している。 ③観光地域マーケティングの基礎的知識を持っている。								
大分の観光と文化	前期 火2	晴谷	2	10	1・2	講義(週1×15コマ)	県立芸術文化短期大学で開講	オムニバス形式
①大分の観光や文化についての基礎的な知識を身につける。 ②地元出身者にも意外に知られていない観光資源としての大分の魅力を再認識する。 ③観光振興の戦略や問題点について認識する。 ④大分の観光振興について主体的に考える態度を養う。								

大分工業高等専門学校

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
環境化学	前期 金2	横田	2	4	3.4	講義(週1×15コマ)	大分工業高等専門学校で開講	
(1) 化学の基礎力をベースに環境問題の現状を把握し、環境保全への関心を抱くことができる。(定期試験) (2) 化学的な視点から大気・水・土壌の汚染問題を議論できる。(定期試験) (3) 化学物質の循環、越境および管理について理解することができる。(定期試験) (4) 化学を英語で理解することができる。(定期試験)								

別府溝部学園短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
観光学入門	前期 月2	安達 他	1	20	1・2	講義(週1×8コマ)	別府溝部学園短期大学で開講	社会人受け入れ
①別府地域について、別府八湯の視点から各地域の特色を説明できる。 ②顧客が別府を訪れる際に必要な基礎的情報を説明できる。								
温泉コンシェルジュの基礎	前期 月5、 集中	中川 他	2	20	1・2	講義(週1×12コマ) フィールドワーク3コマ	別府溝部学園短期大学 および別府市内	社会人受け入れ グループワーク有り
①(別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ②別府の魅力・特色を知り、プログラムを作成する努力ができる。 ③他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をする心がけができる。 ④顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。								
別府の歴史と発展	前期 水4	安達	2	20	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	別府溝部学園短期大学で開講	社会人受け入れ
①別府発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の視点で説明できる。 ②別府発展のポイントを、歴史と周辺地域の連携という視点で説明できる。 ③取得した情報を基に、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。 ④情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現(説明)できる。								
温泉コンシェルジュ演習	前期 集中	安達 他	2	10	1・2・3・4	講義、フィールドワーク、観光 施設における現場演習	別府溝部学園短期大学 および別府市内	社会人受け入れ 最終プレゼン有り(10月)
①(別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ②「おすすめの別府案内」プログラムが提案できる。 ③他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心がけができる。 ④顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。								
温泉学	前期 集中	由佐 他	2	20	1・2・3・4	講義13コマ フィールドワーク2コマ予定	別府溝部学園短期大学 および別府市内	社会人受け入れ 8月上旬予定
①温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ②別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュを目指す。								

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
まちづくりと景観	前期 集中	姫野	2	10	1・2・3・4	講義11コマ フィールドワーク4コマ予定	別府溝部学園短期大学 および別府市内	社会人受け入れ 8月下旬予定
①紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ②地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。								

【汎用力科目】

県立看護科学大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
総合人間学	前期9月頃～ 後期11月頃 金4	オムニバス	1	20	1・2・3・4	講義（週1×8コマ）	授業配信	毎回レポート提出
人間性の育成の集大成として、人間として、また医療従事者として、備えておくべき豊かな知性と感性を養う。 さまざまな分野で活躍し、かつ造詣の深い講師の方々から、もの見方や考え方を学ぶ。								

日本文理大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
ジェネリクススキル養成1	前期 集中	吉村 市田	1	20	1	演習・実習2日間（8コマ）	住吉浜リゾートパーク（杵築市）で 1泊2日の合宿	夏期休業中（9月中旬頃の平日） に実施 若年社会人可
【関心・意欲・態度】①各自が「他のメンバーに配慮しながら、オープンな気持ち・態度になり、課題に向き合う際に、チームに積極的にに関わり、チームに貢献することが自分を成長させ、今後の様々な場面でもそれが役に立つ」と意識できる。 【技能・表現・コミュニケーション】②フルバリュー・コントラクト（人と良い関係を作る力、対人基礎力）、チャレンジ・バイ・チョイス（自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力）という観点から、活動を各自がふりかえることができる。 【思考・判断・創造】③体験学習サイクル（考える力、対課題基礎力）という観点から、活動を各自がふりかえることができる。								

別府溝部学園短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
おもてなしの心を学ぶ	前期 火2	木本 他	2	20	1・2	講義（週1×15コマ）	別府溝部学園短期大学で開講	社会人受け入れ グループワーク有り
①日本の接客業における、総合的なおもてなしの心や業務が分かる。 ②温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。 ③他者を理解し多様な価値観を受容することができる。 ④日本や世界のおもてなしの心と作法を基に、接客サービスができる。								

（後期）

【地域力科目】

別府大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
九州学	後期 土1	飯沼	2	30	1	講義（週1×15コマ）	別府大学で開講	一般公開
①九州学は、福岡を中心にふりかぶって上からする学問ではなく、九州のそれぞれの地域の特性を主張する学問と位置付ける。本授業は九州学の入門編として行われ、九州とはどのような特質を持つかを、各分野の教員がそれぞれの切り口から提起し、学生が九州について考えることが狙いである。 ②受講生には九州への新しい見方を勉強してもらい、それぞれの視点から九州を語れるような学生が育つことを目標としている。								
温泉学概論	後期 土2	鈴木	2	10	1	講義（週1×15コマ）	別府大学で開講	フィールドワーク有り
①温泉文化は日本の自然と歴史に根差した日本独自のものであるが、本格的な研究は充分ではない。そこで、別府大学では、世界最大の温泉保養都市別府にある大学として、総合温泉の確立を目指すプロジェクトを開始している。本講義を温泉に関する研究を広く公開する場とする。学内外の多分野にわたる教員がさまざまな方面から温泉の持つ諸側面を明らかにする。 ②日本温泉文化を理解し、それを見直すことができる。								

大分工業高等専門学校

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
社会技術概論	後期 未定	久保山	2	4	3・4	講義（週1×15コマ）	大分工業高等専門学校で開講	
(1) 社会技術に関し、多角的に思考することができる。（定期試験） (2) 社会技術の要諦を理解することができる。（定期試験） (3) 具体的事案にそくし、体系的に議論することができる。（定期試験） (4) 将来起こりうる事態に際し、積極的な解決施策を提案できる。（定期試験）								

別府溝部学園短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
温泉医療療養指導	後期 木曜(予定)	前田	2	20	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	別府溝部学園短期大学で開講	社会人受け入れ
①健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ②安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。								
温泉健康トレーニング	後期 金曜(予定)	住田 他	2	10	1・2・3・4	講義11コマ フィールドワーク4コマ予定	別府溝部学園短期大学 および別府市内	社会人受け入れ
①温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ②別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③温泉を活用した健康トレーニングや癒し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④習得した知識を基にして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。								
大分学	後期 未定	楢本 他	2	20	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	別府溝部学園短期大学で開講	社会人受け入れ
①大分県内の特色(歴史・人物・文化・産業等)について学ぶ。 ②大分県の魅力を全国に発信することができる。								
温泉文化と活用	後期 未定	安達 他	2	20	1・2・3・4	講義11コマ フィールドワーク4コマ予定	別府溝部学園短期大学 および別府市内	社会人受け入れ
①温泉の活用方を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ②他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。								
温泉コンシェルジュ応用	後期 集中	坂田	2	10	1・2・3・4	講義11コマ フィールドワーク4コマ予定	別府溝部学園短期大学 および近隣地域	社会人受け入れ pptで成果物作成
①別府の地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案ができる。 ②多様な情報を収集し、顧客の滞在価値を高めるツールを作成できる。 ③人的ネットワークを活用し、課題解決力を身に付けることができる。 ④顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為に提案を行うことができる。								

【汎用力科目】

日本文理大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
ジェネリックスキル養成2	後期 集中	鈴木(照)・ 吉村	1	30	1	演習2日間(8コマ)	日本文理大学湯布院研修所(由布市)で 1泊2日の合宿	春期休業中(2月下旬頃の平日) に実施 若年社会人可
【関心・意欲・態度】①チームにおける自己の役割を理解し、それに沿った行動ができる。②大分について考えることができる。 【知識・理解】対象とする地域課題について必要な知識を獲得し、問題点の分析に活用することができる。 【技能・表現・コミュニケーション】①対象とする地域課題について、自分の意見を述べる。②対象とする地域課題に関する解決策について、適切な手段を用いて表現することができる。 【思考・判断・創造】リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。								